

# 育成センター情報

令和3年 7月28日(水)  
 【倉敷市青少年育成センター】  
 倉敷市西中新田640番地  
 TEL 426-3861 / FAX 421-6018

酷暑の候、平素から青少年の健全育成にご尽力を賜り、心より感謝申し上げます。先日、子どもたちの多くが心待ちにしている夏休みに入りましたが、本年度も“倉敷天領祭り”など、各地区の“お祭り”が中止となりました。ただ、7月17日(土)から児島地区と玉島地区の一部において土曜夜市が始まっています。そこでは、多くの子どもたちの笑顔があふれ、街角では少しずつ賑わいを取り戻しつつあります。

7月から補導活動を開始しています。少年補導委員の皆様をはじめ関係諸機関の方々におかれましては、ご多用中にもかかわらず補導活動や地区研修会などでお世話になっています。今年後半、少しでも明るく穏やかな日々と、一日でも早い日常が戻ることを願っています。

## ご参加ありがとうございました 倉敷市少年補導委員連絡会7月地区別研修会



地区研修会では、大変多くの少年補導委員の皆様方にご出席をいただき、中学校ブロックごとの情報交換のほか、少年補導委員の顔合わせや連絡先の交換を行いました。また、倉敷・水島・児島・玉島警察署生活安全課をはじめ、倉敷少年サポートセンターの方にご出席を賜り、管内の青少年に関する状況や岡山県内の少年非行概況など、今後の補導活動に生かせる内容をお話いただきました。



玉島地区/マービーふれあいセンター展示室 (R3.7.17)



倉敷地区/倉敷市役所 10階大会議室 (R3.7.7)



水島地区/水島支所 5階大会議室 (R3.7.14)



児島地区/児島マリプール会議室 (R3.7.9)

## 補導活動が始まりました

6月末まで「(新型コロナウイルスに関する)緊急事態宣言」を受けて中止していた補導活動も、7月から予定どおり始まりました。

なお、警報時における合同補導実施の判断につきましては、右上に示したとおりです。少年補導員の皆様方には、5月に配布した『令和3年度倉敷市少年補導委員連絡会』要項で詳細をお知らせしています。

本年度も積極的な補導活動にご協力をお願いいたします。



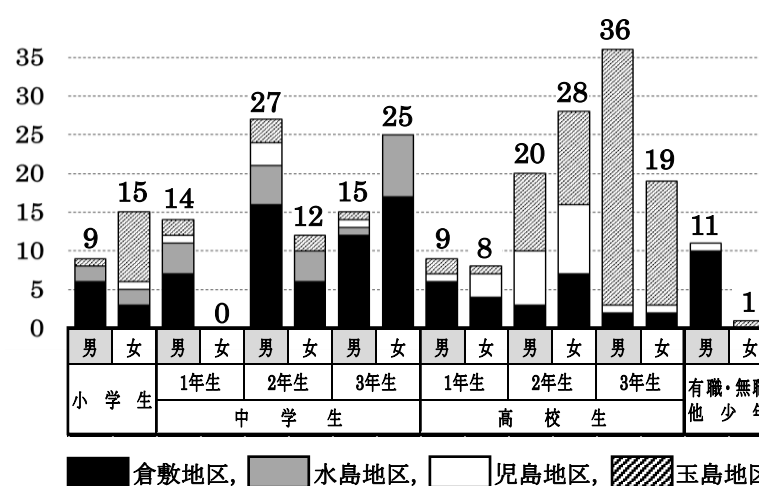
玉島通町商店街での夜市補導 (R3.7.17)

## 令和3年度「合同補導」警報時の対応について

【補導開始時間2時間前】「特別警報」及び「警報」(大雨・洪水・暴風・暴風雪・大雪・波浪・高潮)発令中は、「合同補導」を中止します。中止連絡は、各中学校ブロックの連絡網で対応してください。  
 【解除された場合】補導開始2時間前の判断後、「特別警報」及び「警報」が解除されても、その日の「合同補導」は中止とします。なお、「各中学校ブロック補導」についても、「合同補導」の対応に準じて判断してください。

## 最近の倉敷市内各地区の状況

□ 学識別(延べ)補導人員(令和3年4月～6月末累計)



## 倉敷地区 補導件数(4-6月累計)は101件で、前年度同期と比べて35件増加しました。

これは、昨年度、学校が臨時休校や分散登校を行っていた時期にあたるため、駅周辺や量販店で子どもたちの姿を見かけることが少なかったことが要因の一つと考えられます。倉敷地区の特徴は、他地区と比べて中学生の補導件数の割合が高いことです。特に、中学2年生男子と中学3年生女子が顕著です。また、SNS機能等で繋がった交友関係の広域化が進んでおり、市内外を問わず、他校生を駅周辺の量販店などで見かけることがあります。現段階では、補導対象行為は少ないですが、深夜徘徊など、夏休み期間中の生活を心配しています。本格的な暑さを迎え、酒津貯水池や高梁

川本流、親水公園での遊泳や、水遊び等を楽しむ子どもたちを見かけることが増えました。このため、水辺の事故防止の観点から、補導の巡回コースに組み入れてくださいますようお願いいたします。

## 水島地区 補導件数(4-6月累計)は26件で、前年度同期と比べて5件減少しました。

水島地区の減少傾向はここ数年続いており、5年前(平成28年)と比べると45件減少しています。具体的には、喫煙行為等の非行行為や、公園でゴミを散らかしたり騒いだりする迷惑行為等は、年々少なくなっています。水島地区には、大小さまざまな緑地公園が存在しています。そこでは、元気よく遊ぶ子どもたちの姿をよく見かけましたものの、暑さが厳しくなるにつれて姿は消えていき、今では水島中央公園や福田公園内にあるプールで子どもたちの賑やかな声が聞こえています。

## 児島地区 補導件数(4-6月累計)は29件で、前年度同期と比べて7件増加しました。

このうち、22件が高校生で、その多くが遅刻を含む怠学となっています。児島地区では、毎年本格的な夏場を迎えると、大島海岸をはじめ、通生海岸や和井田港、琴浦港赤灯台など、遊泳禁止区域で泳ぐことや、付近でのごみの散らかしが懸念されます。そこでは、児島地区の青少年に限らず、他地区から訪れた青少年も多い現状があります。このため、学校間での連絡や校区の情報をもとに、実情に応じた補導コースの選定をお願いいたします。

## 玉島地区 補導件数(4-6月累計)は93件で、前年度同期と比べて18件減少しました。

グラフが示すとおり、補導件数の大半を高校2・3年生が占めますが、その割合は、前年度同期97%から79%に低下しており、今年度は遅刻を含む高校生が少なくなりました。また、昨年度に引き続き、沙美海水浴場が開場しないことから、人の目が行き届かず、水辺の事故や騒音、ごみの散乱等が懸念されます。今年度も、学区の現状に応じ、無理のない範囲での補導の展開をお願いいたします。

